平成 23 年 12 月8日

各 位

会 社 名　アスクル株式会社
代表者名　代表取締役社長 岩田彰一郎
(コード番号:2678 東証一部)
問合せ先
役職・氏名　財務・IR・広報 統括部長
玉井 継尋
TEL 03-4330-5130

平成 24 年5月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 12 月7日開催の取締役会において、平成 23 年9月 16 日に公表しました平成 24 年5月期第2四半期連結累計期間(平成 23 年5月 21 日～平成 23 年 11 月 20 日)の業績予想につきまして、以下の通り修正し、併せて特別損失の計上をすることとしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 24 年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成 23 年5月 21 日～平成 23 年 11 月 20 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	104,700	1,800	1,760	900	29.00
今回修正予想(B)	102,300	3,000	2,960	1,000	32.22
増減額 (B－A)	△2,400	1,200	1,200	100	
増減率 (%)	△2.3	66.7	68.2	11.1	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成 23 年5月期第2四半期)	95,380	2,267	2,225	385	12.41

2. 修正の理由

連結売上高は、経済環境の影響等により従来予想を若干下回るものの、第2四半期連結累計期間において初の 1,000 億円突破となる見込みです。

連結営業利益・経常利益は、震災からの早期完全復旧等により売上総利益率・配送効率が計画比で改善したことや多岐に亘るコスト削減活動の成果に加え、販売促進費の発生時期のずれ等の要因もあり、従来予想を 12 億円ほど上回り、前年同期比においても増益となる見込みです。

なお、連結当期純利益につきましては、後述の特別損失の計上により、従来予想を1億円ほど上回る10億円となる見込みです。

平成 24 年5月期通期連結業績につきましては、経済環境の先行きが不透明なことや下期に向けて上記の販売促進費を有効活用していくこと等を鑑み、現時点では従来予想を据え置きます。

3. 特別損失の計上

(1)特別損失の内容

連結子会社の減損損失の計上:784 百万円

(内訳)

アスマル株式会社の固定資産の減損損失:600 百万円

愛速客楽(上海)貿易有限公司の固定資産の減損損失:183 百万円

(2)損失計上の理由

両連結子会社の収益状況については、当期の実行計画を着実に推進し、その実績もほぼ計画通り改善しており、現時点では事業の将来性についても引き続き有望と考えておりますが、両社の売上状況等を鑑み事業計画を保守的に見直した結果、残存する償却期間内では投資金額を回収することは困難と判断したため、会計上の減損処理を実施するものです。

上記の連結業績における特別損失の計上に併せて、個別業績においても、主に両社の事業立ち上げのために拠出した貸付金に対する貸倒引当金繰入額等の特別損失 2,475 百万円を計上しておりますが、連結決算処理で取引消去される項目のため、直接的に連結業績に与える影響はございません。連結業績においては、結果として、これまでの両社の損失計上(上記の減損損失を含む)に織り込まれており、今回の一連の処理により両社の過去の事業活動に伴う会計上のリスクは極小化されます。

以 上